

グローバル情報技術で笑顔を創る

株式会社 **SYSホールディングス**



**YS**

Global IT  
For  
Your  
Smile

平成30年 7 月期

第 2 四半期

決算説明会資料

平成30年 3 月22日

(銘柄コード : 3988)



## I 事業概要

## II 平成30年7月期第2四半期決算概要

## III 平成30年7月期業績予想

## IV 今後の展開

## 参考資料



# I 事業概要





# 会社概要

## 会社名

株式会社 SYSホールディングス

## 代表取締役

鈴木 裕紀

## 設立

平成25年8月（創業：平成3年1月）

## 資本金

359,012千円（平成30年1月末現在）

## 従業員数

566名（グループ含む平成30年1月末現在）

## 所在地

名古屋市東区代官町35番16号

## 事業内容

グローバル製造業ソリューション  
社会情報インフラ・ソリューション  
モバイル・ソリューション

## グループ会社

株式会社エスワイシステム、株式会社SYI、株式会社エス・ケイ、  
株式会社グローバル・インフォメーション・テクノロジー、  
株式会社総合システムリサーチ、有限会社テクノフュージョン  
PT. SYS INDONESIA



# グループ概要

当社グループは、純粋持株会社である当社、国内連結子会社6社、海外連結子会社1社の計8社で構成されており、システムの開発及びソリューション・サービスの提供を中核とする総合情報サービス事業を営んでおります。

## (株)SYSホールディングス

### (株)エスワイシステム



代表者 鈴木 裕紀

設立 平成3年1月

資本金 70,500千円

従業員 360名

### (株)SYI



代表者 荒井 一隆

設立 平成23年2月

資本金 9,500千円

従業員 20名

### (株)エス・ケイ



代表者 長尾 和美

設立 平成11年11月

資本金 51,500千円

従業員 16名

### (株)グローバル・インフォメーション・テクノロジー



代表者 中平 裕貴

設立 平成25年7月

資本金 15,000千円

従業員 30名

### (株)総合システムリサーチ



代表者 服部 大騎

設立 平成4年3月

資本金 20,000千円

従業員 82名

### (有)テクノフュージョン



代表者 赤尾 隆一

設立 平成8年6月

資本金 4,000千円

従業員 16名

### PT. SYS INDONESIA



代表者 山口 仁志

設立 平成24年4月

資本金 300千米ドル

従業員 18名

平成29年11月  
グループ参加



## 企業理念

- Principle** 五方正義
- Service** 顧客満足を実現する総合情報サービスの提供
- Efficient** 高品質・低価格・高付加価値の追求
- Challenge** 世界視野での斬新な挑戦
- Responsibility** 業界・地域・社会貢献

## コーポレートステートメント

「グローバル情報技術で笑顔を創る」

- ・ 中核会社である(株)エスワイシステムでは新卒・未経験しか採用しません
- ・ 経験者はM&Aで会社ごと迎え入れます



**企業理念を言えない  
従業員はいません！**





# 会社沿革

平成3年	(1991年)	1月	名古屋市中区栄に㈱エスワイシステムを設立、ソフトウェア開発業務を開始
平成9年	(1997年)	8月	名古屋市東区東片端に採用の多様化、顧客層拡大のために㈱エスネットワークを設立
平成10年	(1998年)	3月	中国より技術研修社員の受け入れ開始
平成11年	(1999年)	5月	陝西金葉西工大軟件有限公司（中国西安市）と業務提携
平成12年	(2000年)	3月	派遣業務の開始に伴い、特定労働者派遣事業の届出
平成13年	(2001年)	1月	派遣業務の拡大のため、一般労働者派遣事業の許可を受ける
平成14年	(2002年)	4月	東京都千代田区神田紺屋町に、東京事業所を開設
平成16年	(2004年)	1月	当社との関係強化、中国国内での受注強化を目的として、中国上海市の上海裕日軟件有限公司（連結子会社）に出資し、子会社化
平成16年	(2004年)	3月	大阪市北区豊崎に、大阪事業所を開設
平成17年	(2005年)	3月	本社を名古屋市東区代官町に移転／㈱エスネットワークを㈱エスワイネクストに組織変更
平成18年	(2006年)	3月	中国西安市に、当社グループの開発拠点として西安裕日軟件有限公司（連結子会社）を設立
平成23年	(2011年)	2月	名古屋市東区に㈱SYI（連結子会社）を設立
平成23年	(2011年)	8月	ベトナム・ハノイ市にSYS Vietnam Co.,Ltd.（連結子会社）を設立
平成24年	(2012年)	4月	インドネシア・ブカシ市にPT.SYS INDONESIA（連結子会社）を設立
平成24年	(2012年)	5月	㈱エス・ケイ（連結子会社）の株式を取得し、子会社化
平成25年	(2013年)	7月	名古屋市東区に㈱アグリット（連結子会社）を設立
平成25年	(2013年)	8月	㈱エスワイシステム（連結子会社）の単独株式移転により当社設立
平成25年	(2013年)	10月	㈱エスワイネクストを解散
平成25年	(2013年)	11月	㈱総合システムリサーチ（連結子会社）の株式を取得し子会社化
平成26年	(2014年)	10月	㈱アグリット（連結子会社）を㈱グローバル・インフォメーション・テクノロジー（連結子会社）に商号変更
平成28年	(2016年)	1月	㈱エスワイシステム（連結子会社）がハッピーネット㈱と事業譲受契約を締結し事業の一部譲受
平成28年	(2016年)	12月	SYS Vietnam Co.,Ltd.（連結子会社）を解散決議（現在清算手続中）
平成29年	(2017年)	3月	上海裕日軟件有限公司（連結子会社）及び西安裕日軟件有限公司（連結子会社）の全出資持分を売却
平成29年	(2017年)	6月	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に株式を上場
平成29年	(2017年)	11月	㈱テクノフュージョン（連結子会社）の株式を取得し子会社化



# 事業内容

当社グループは総合情報サービス事業の単一セグメントであり、3つのソリューションに区分されます。

## グローバル製造業 ソリューション

自動車、重工業、工作機械、鉄鋼、搬送機等の関連企業を主要顧客として、総合情報サービスを提供

(株)エスワイシステム  
(株)SYI  
(株)グローバル・インフォメーション・テクノロジー

(株)総合システムリサーチ  
(有)テクノフュージョン  
PT.SYS INDONESIA

## 社会情報インフラ・ ソリューション

エネルギー、金融、印刷帳票、鉄道、不動産等の関連企業及び官公庁、自治体等を主要顧客として、総合情報サービスの提供

## モバイル・ ソリューション

流通、訪問介護、鉄道、医療、ロードサービス等の関連企業をエンドユーザーとした、法人向けモバイル・アプリケーション等のサービスの提供

(株)エス・ケイ





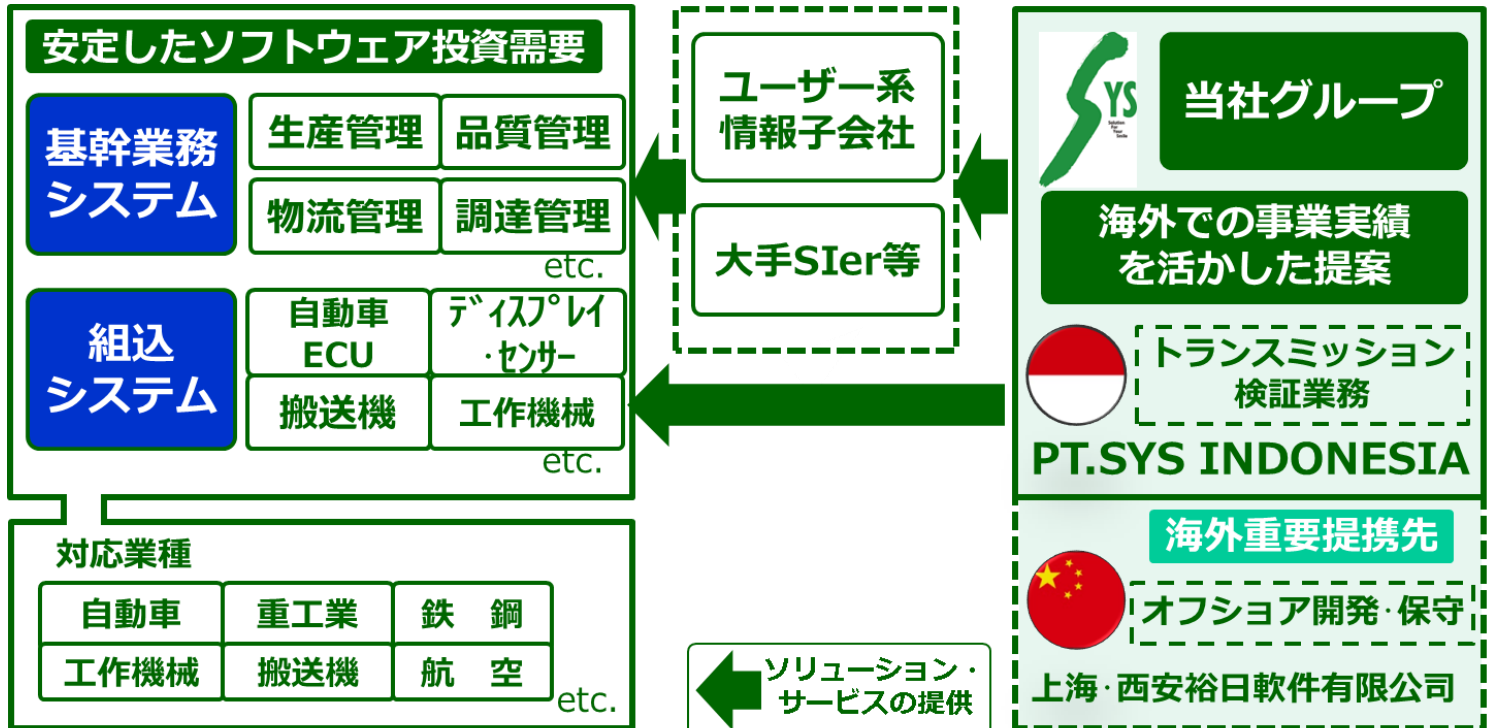
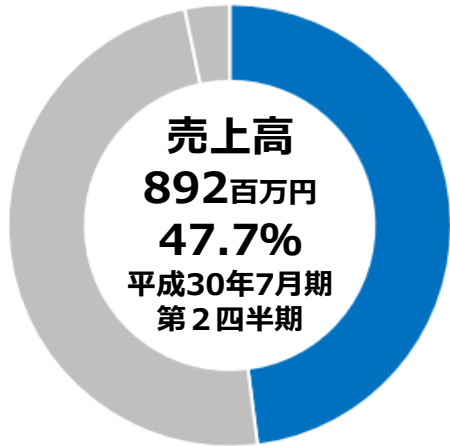
# 事業内容（グローバル製造業ソリューション）

製造業においては、製品や部品への情報技術の活用による差別化と生産管理、品質管理、調達管理、物流管理等の効率化のために情報技術が活用されており、安定してソフトウェア投資が行われております。

当社グループでは、海外市場を販路として成長を遂げている製造業企業をターゲットとしており、主に、自動車、重工業、工作機械、鉄鋼、搬送機等の関連企業を主要顧客として総合情報サービスを提供しております。

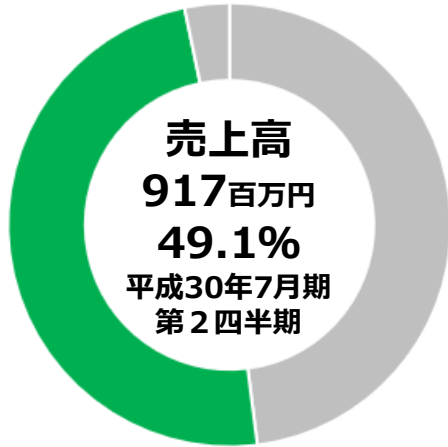
自動車関連顧客については、燃費・環境保全への対応のため、需要が高まっている車載ECU（電子制御ユニット）関連の開発や検証等を行っています。

また、当社グループの海外での事業実績や海外重要提携先を活かした提案を行っており、当社連結子会社のPT. SYS INDONESIAでは、オートマチック・トランスミッションの検証業務を行っています。



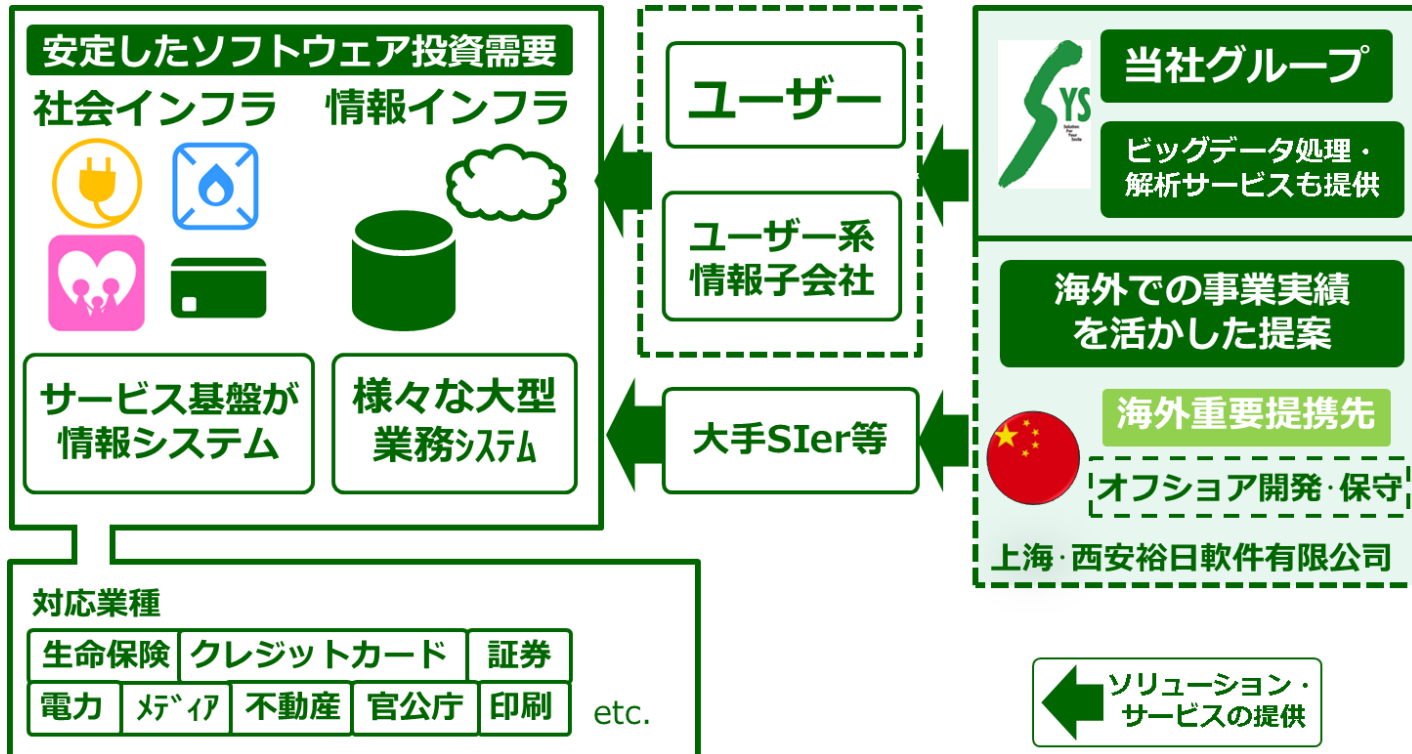


# 事業内容（社会情報インフラ・ソリューション）



電力、金融等の社会を支えるインフラによるサービスや近年発展したインターネットやデータセンター等の情報インフラを利用したサービスを当社グループでは、「社会情報インフラ」と呼んでおり、それらのサービスを提供する企業は、情報技術を提供するサービスの基盤としていることから、競争力維持のために継続的にソフトウェア投資が行われています。

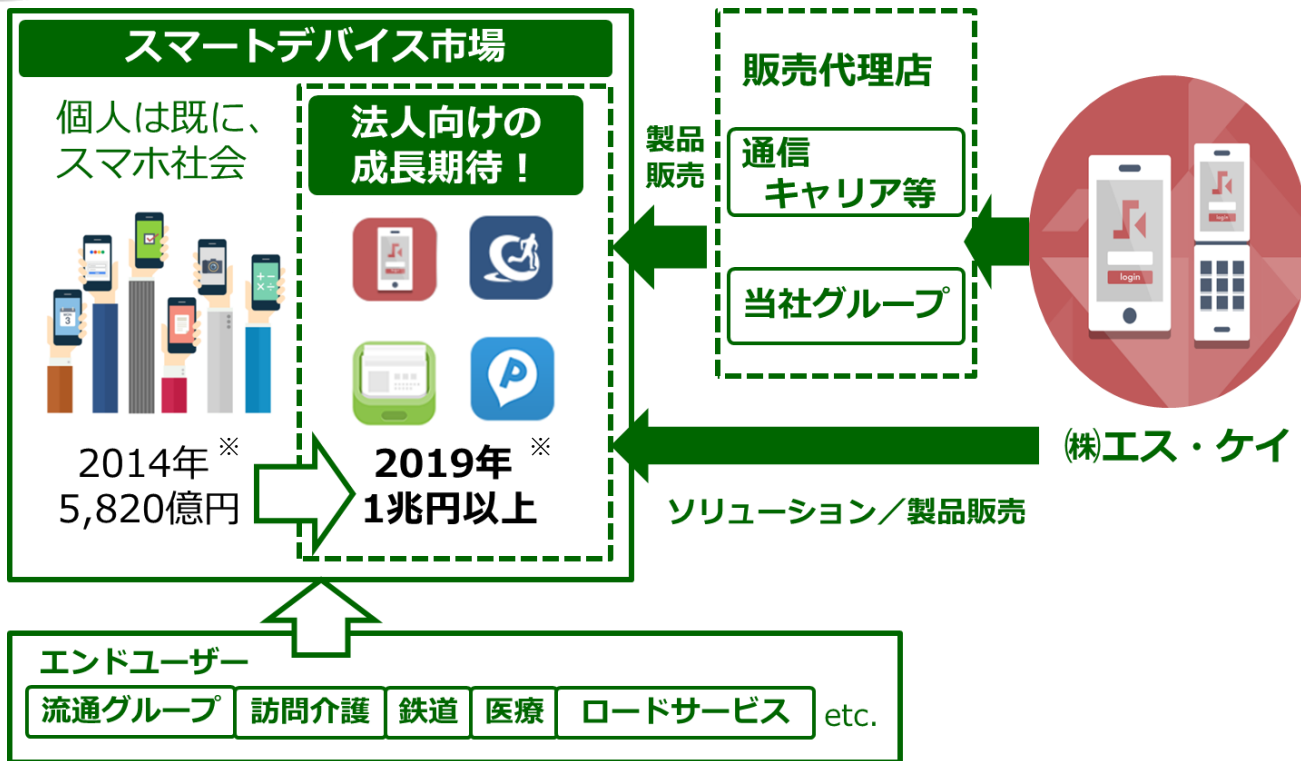
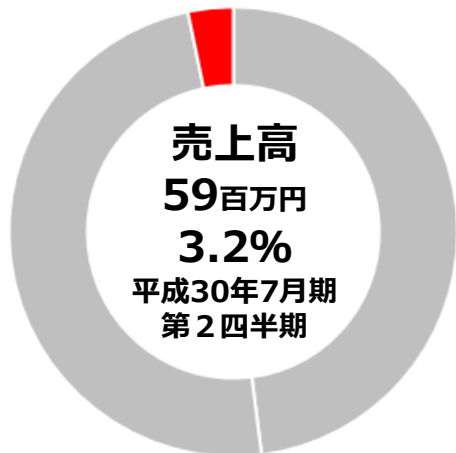
当社グループでは、電力・ガス等のエネルギー、生命保険・クレジットカード、リース・証券等の金融、印刷帳票、鉄道、不動産関連の企業や官公庁・自治体等を主要顧客として総合情報サービスの提供を行っております。



# 事業内容（モバイル・ソリューション）

スマートフォンやモバイル端末の普及により、モバイル・アプリケーションでのサービスは、個人の生活に不可欠な存在となっておりますが、当社グループでは、今後の成長が期待される法人向けのモバイル・アプリケーション等によるサービスを提供しており、流通グループ、訪問介護、鉄道、医療、ロードサービス等の業種をエンドユーザーにしています。

連結子会社の(株)エス・ケイでは、「価値ある便利をもっと身近に。成功へと導く、新しいビジネスソリューション。」をコーポレート・ステートメントとして、製品を通信キャリア等の販売代理店や当社グループを通じて、販売しております。





カスタマイズ対応クラウド型業務報告システム

## Field Plus

(フィールドプラス)

- ✓ 現場からの報告で残務作業を短縮
- ✓ チェックシート感覚でカンタン報告操作
- ✓ 報告シートを管理画面で自由に設定

**自治体福祉協議会 : 1,500ライセンス**  
**大手訪問介護 : 1,000ライセンス**  
**大手百貨店、有名菓子・飲料・衣類**

1つの電話帳をみんなで使える、スマート&セキュアなクラウド電話帳

## iContact+office

**大手流通企業グループ : 25,000ライセンス**



メール・SMS一斉配信で災害リスク管理

## Quick Safety

(クイックセーフティ)

- ✓ メール・SMSを一斉配信
- ✓ アンケートフォームで情報収集
- ✓ 地震情報を自動配信

**大手鉄道会社 : 25,000ライセンス**  
**大手クレジットカード : 1,000ライセンス**  
**海外商工会議所**



位置情報マネジメントシステム

## マップP+ Powered by NAVITIME

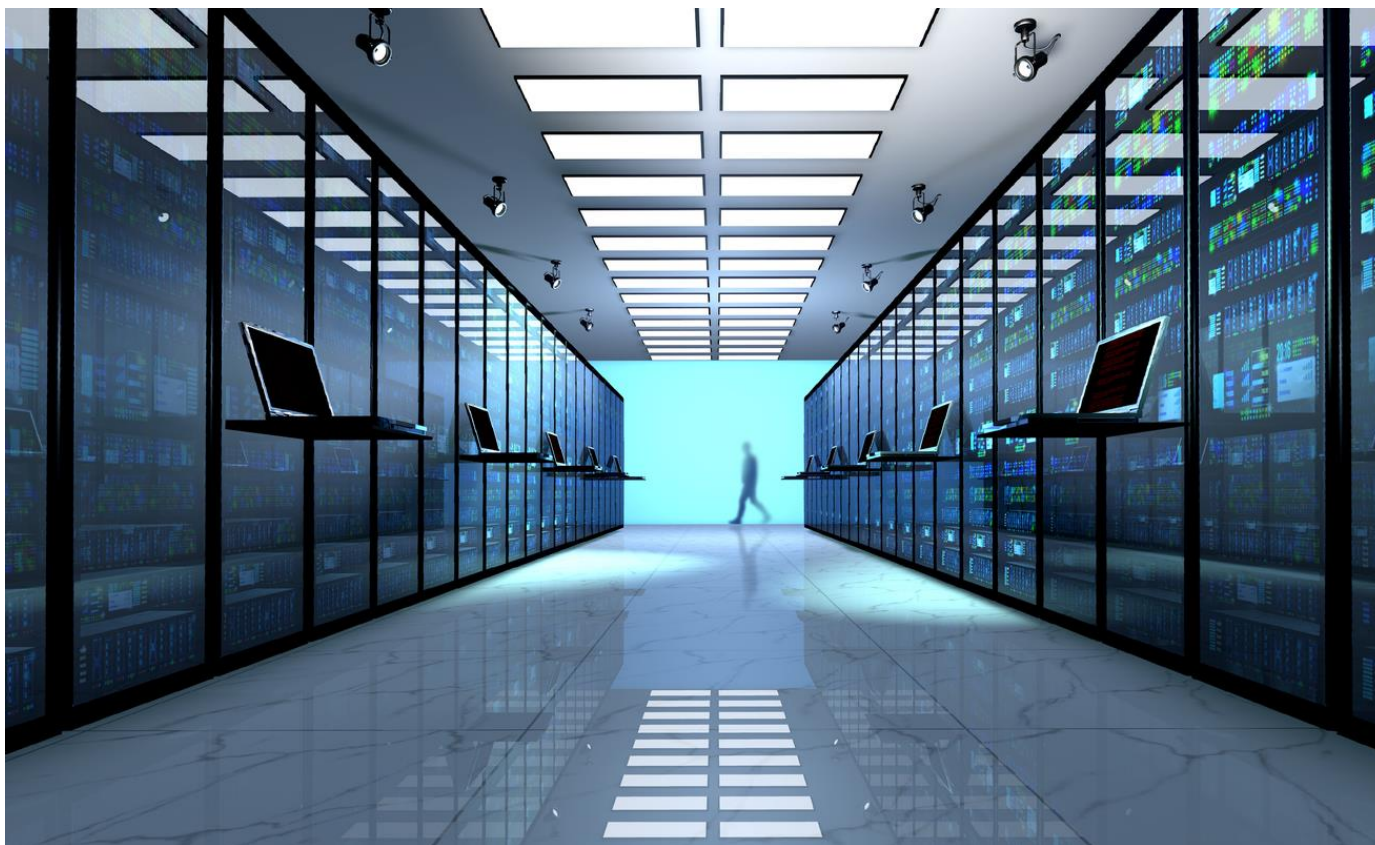
※「NAVITIME」は株式会社ナビタイムジャパンの登録商標です。

- ✓ スマートデバイスの位置情報を自動通知
- ✓ 通知位置情報に作業ステータスやコメントを付加
- ✓ 通知位置情報は専用管理画面で一元管理

**バイクロードサービス、大手SIer**



## Ⅱ 平成30年7月期第2四半期 決算概要



# 連結損益計算書の概況

単位：百万円

	平成29年 7月期 第2四半期	売上比	平成30年 7月期 第2四半期	売上比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	1,933	100.0%	1,869	100.0%	△ 64	△3.3%
営業利益	93	4.8%	68	3.7%	△ 24	△26.5%
経常利益	102	5.3%	68	3.7%	△ 33	△32.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	84	4.4%	37	2.0%	△ 47	△55.8%

## 売上高

1,869百万円

(前年同期比3.3%減)

## 経常利益

68百万円

(前年同期比32.6%減)

親会社株主に帰属  
する四半期純利益

37百万円

(前年同期比55.8%減)

## 売上高

- ・ 想定以上に**採用環境が逼迫**しており、採用による技術者確保ができず、受注機会を逃し売上高が伸び悩みました。
- ・ 第1四半期に技術者確保ができず、第2四半期で対策に取り組みましたが教育に一定の期間が必要なため、売上高の増加には至りませんでした。第3四半期以降は、この対策により**改善していく見通し**です。
- ・ 前期売却した海外2法人の影響を除くと実質前年同期比で増収となります。

## 経常利益

- ・ **M&A関連費用12百万円**、採用関連費用の増加8百万円、売却した海外2法人の影響による利益の減少12百万円を除くと前年同期比で**横ばい**となります。

# 連結貸借対照表の概況

単位：百万円

	平成29年 7月期	平成30年 7月期 第2四半期	前期比 増減額
流動資産	2,317	2,359	41
現金及び預金	1,792	1,773	△ 19
売掛金	393	363	△ 29
固定資産	193	228	34
有形固定資産	50	52	1
無形固定資産	32	61	28
投資その他の資産	110	115	4
流動負債	807	768	△ 39
買掛金	91	86	△ 4
固定負債	114	218	103
純資産	1,588	1,600	11
株主資本	1,576	1,588	11
総資産	2,511	2,587	76

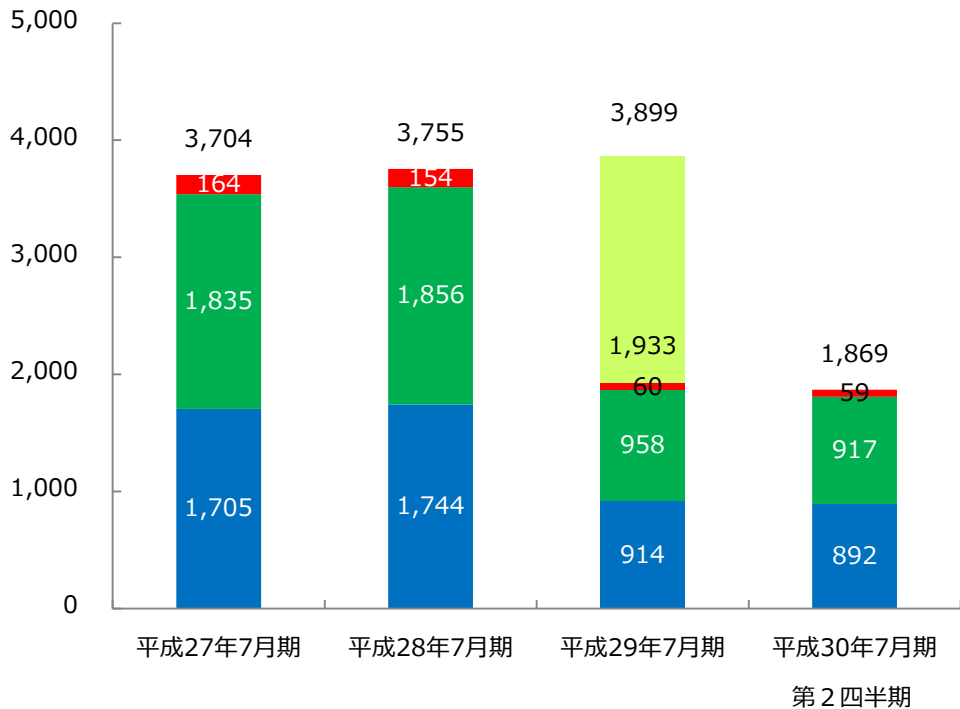


## 売上高

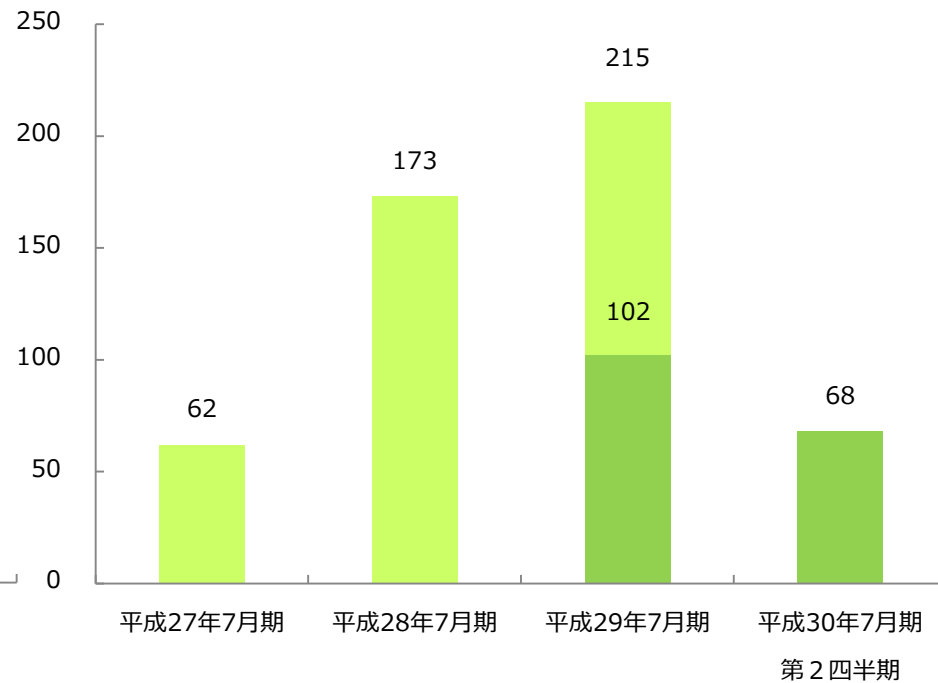
## 経常利益

■グローバル製造業ソリューション ■社会情報インフラ・ソリューション ■モバイル・ソリューション

(百万円)



(百万円)





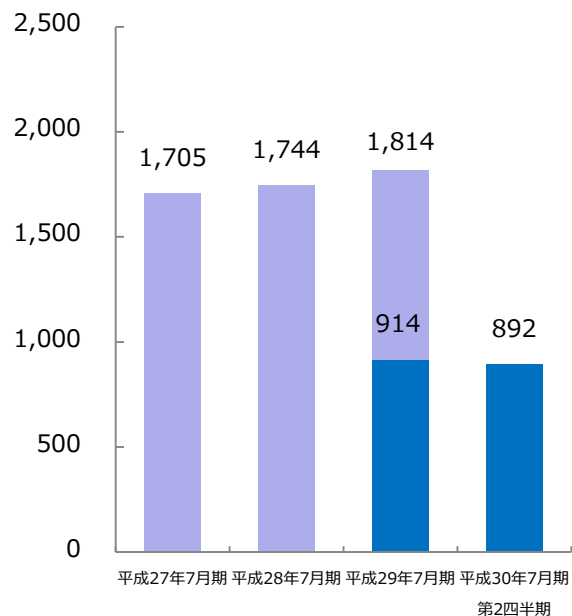
# ソリューション別売上高推移

## グローバル製造業 ソリューション

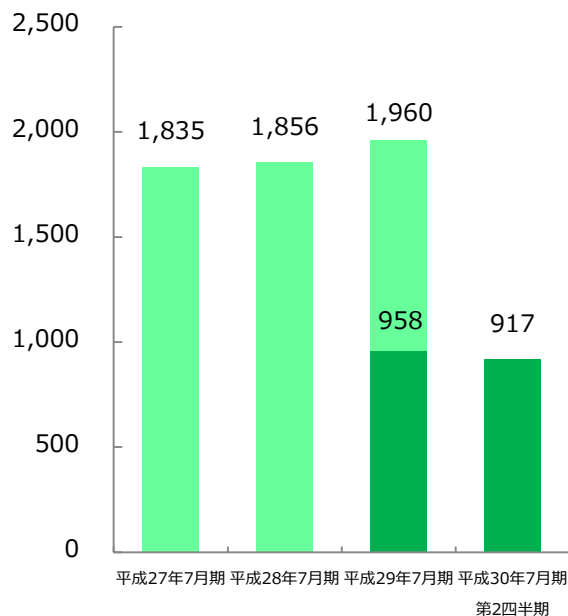
## 社会情報インフラ・ ソリューション

## モバイル・ ソリューション

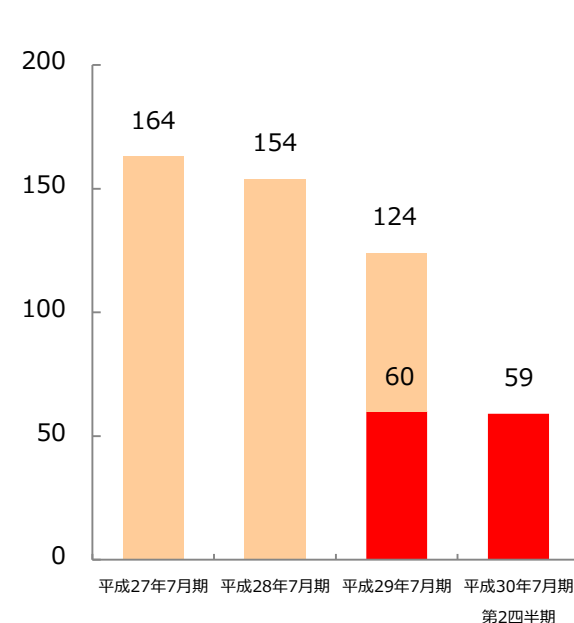
(百万円)



(百万円)

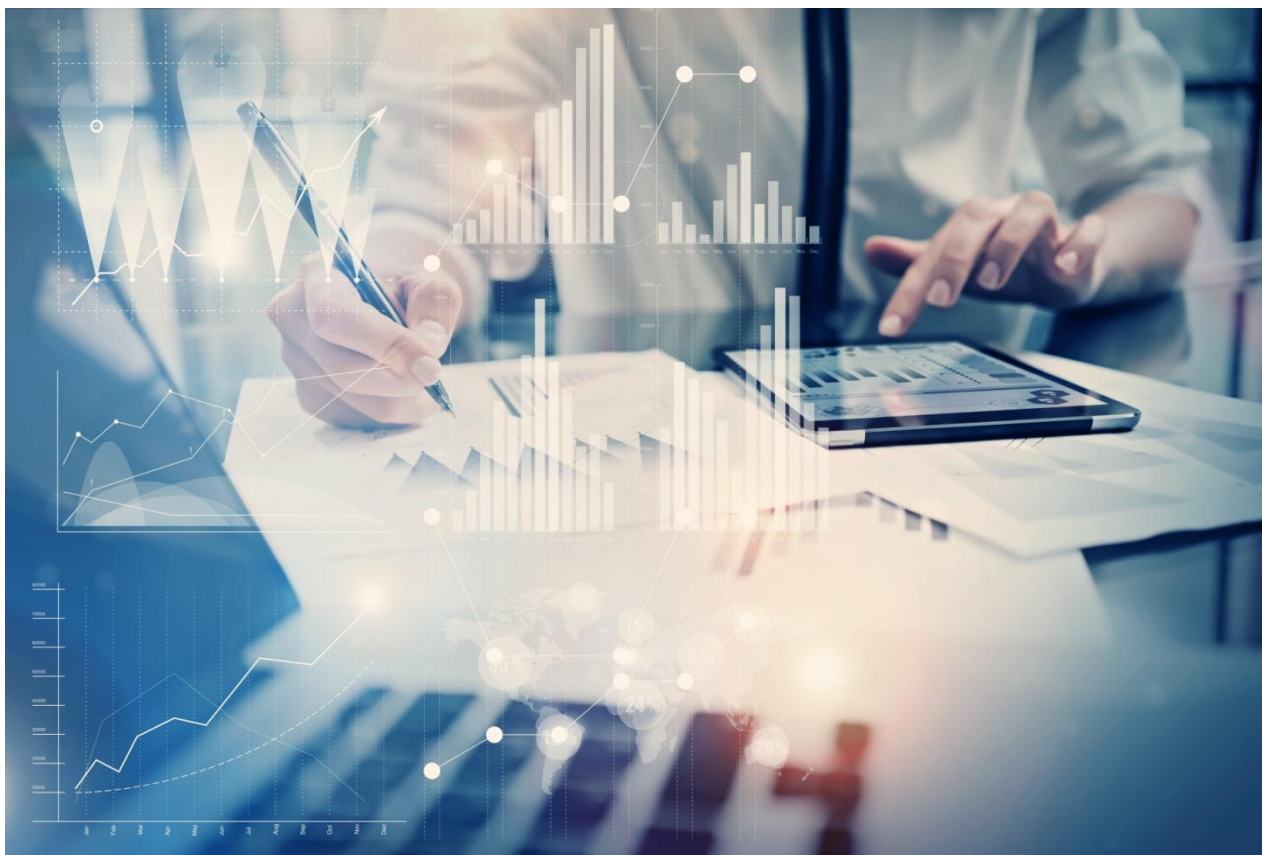


(百万円)





# Ⅲ 平成30年7月期業績予想





# 平成30年7月期 連結業績予想 (平成29年9月13日公表の業績予想から変更はありません)

単位：百万円

	平成29年 7月期	売上比	平成30年 7月期 (予想)	売上比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	3,899	100.0%	4,412	100.0%	512	13.2%
営業利益	217	5.6%	217	4.9%	0	0.2%
経常利益	215	5.5%	220	5.0%	5	2.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	163	4.2%	145	3.3%	△ 17	△10.6%

(注) 連結子会社の黒字化による繰越欠損金の減少により、繰延税金資産の減少を見込んでいることから親会社株主に帰属する当期純利益は減益を見込んでおります。

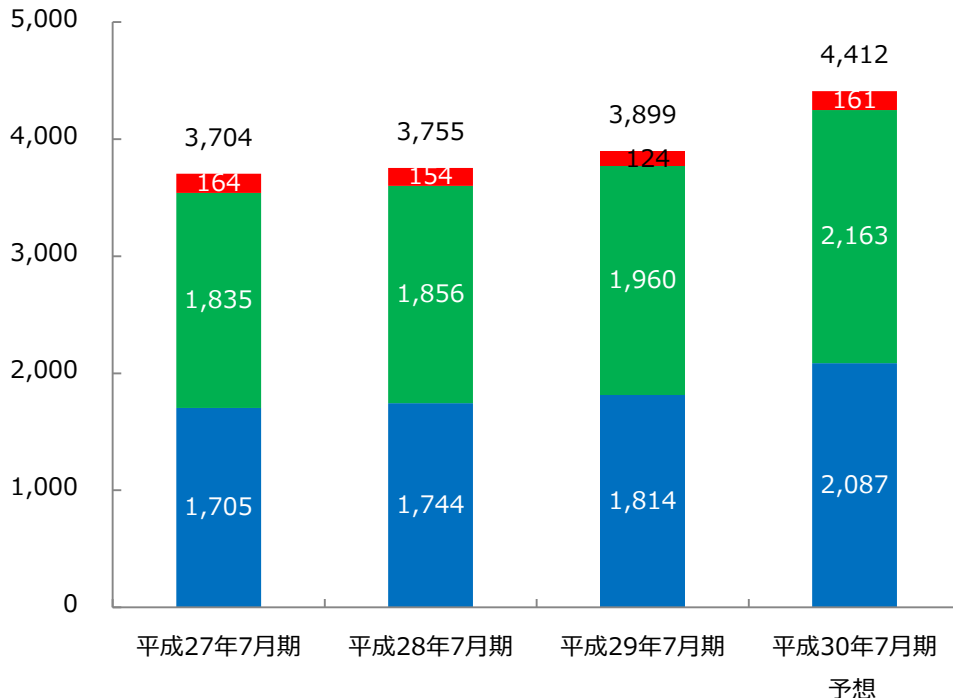


# 業績推移（予想）

## 売上高

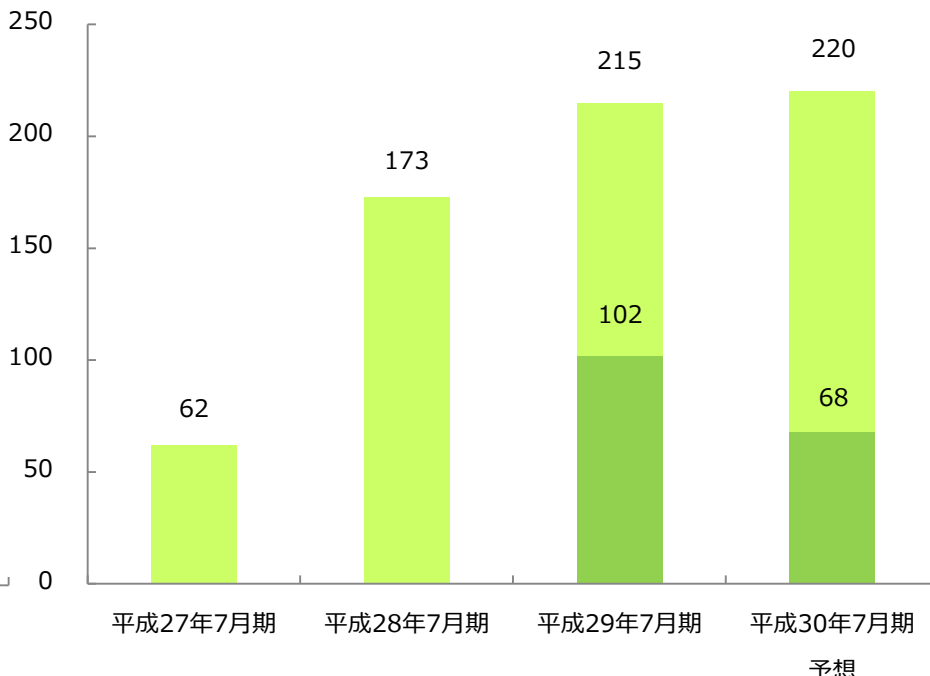
■グローバル製造業ソリューション ■社会情報インフラ・ソリューション ■モバイル・ソリューション

(百万円)



## 経常利益

(百万円)



- 対策は、第2四半期から実施し、大手企業の採用状況等を加味し、**採用基準を**、「絶対に活躍できる人」から「活躍できる可能性のある人」に**変更**したことにより、**状況は改善**していることから、通期の業績予想は修正しておりません。



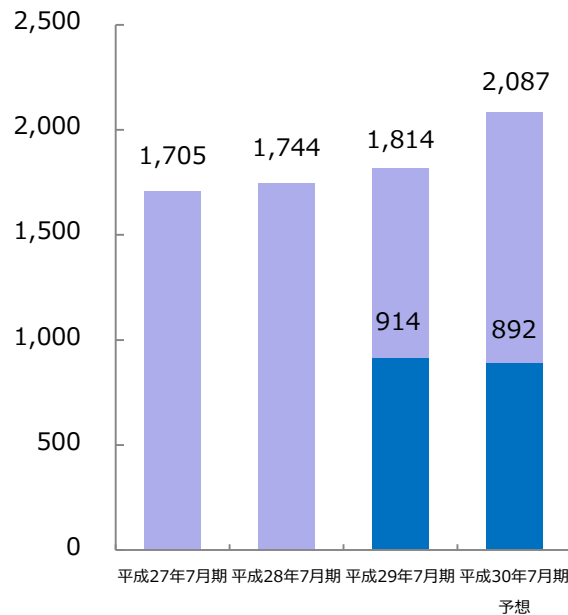
# ソリューション別売上高推移（予想）

## グローバル製造業 ソリューション

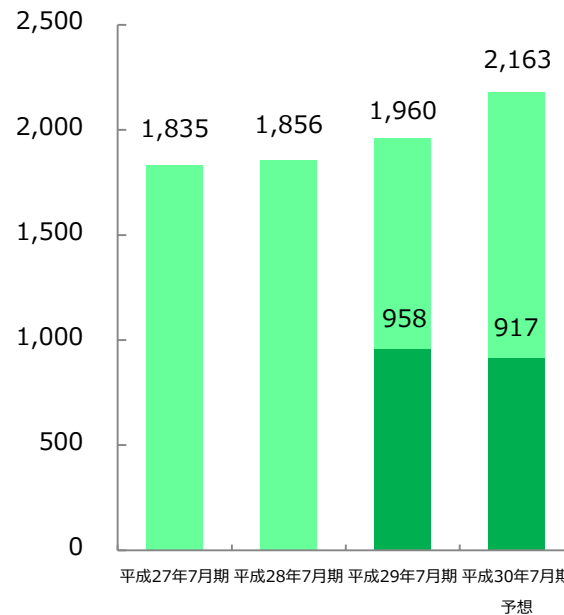
## 社会情報インフラ・ ソリューション

## モバイル・ ソリューション

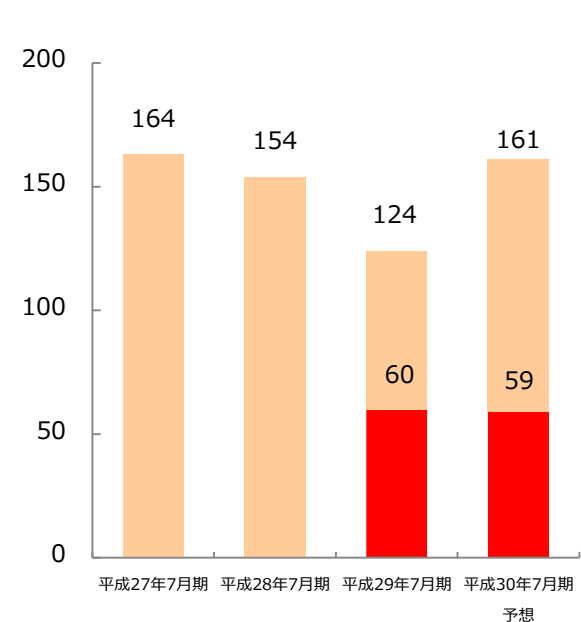
(百万円)



(百万円)



(百万円)



(参考) 平成30年第2四半期の仕掛品は、前年同期比で41百万円増加しております。

	平成29年7月期	平成30年7月期 (予想)
1株当たり配当金 (株式分割考慮前)	20.0円	13.0円 (26.0円)
配当性向	13.0%	22.9%

- (注) 1. 平成30年7月期(予想)期末配当金の内訳  
 普通配当11円00銭  
 記念配当 2円00銭
2. 平成30年7月期(予想)期末配当金は、平成30年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって行った株式分割後の期末配当金になります。従いまして、実質的には普通株式1株につき6円（普通配当2円、記念配当4円）の増配になります。



# IV 今後の展開







# グローバル製造業事業領域（車載ECU）

自動運転の実現を控え、開発需要が非常に高まっている中、当社グループでは100名以上の技術者が参画しており、海外も含めて拡大する計画です。

## SYS ホールディングスグループ 車載ECU事業領域

### 車載ECU 関連売上高

平成30年7月期第2四半期

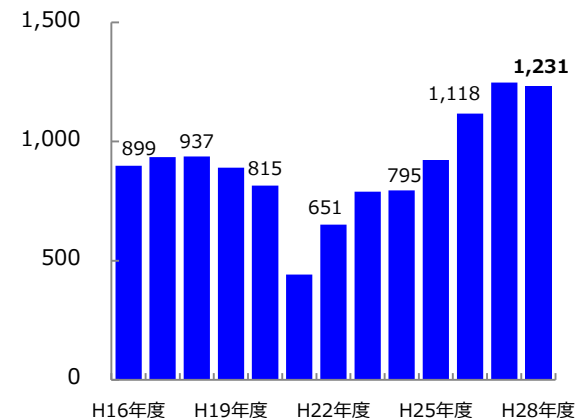
前年同期比 **5.2%増**

平成30年7月期（通期予想）

前期比 **25.0%増**

### ソフトウェア投資実額見込（自動車）

（億円）



ワイヤレスキーシステム

カーナビゲーション

オートマチック  
トランスミッション

エンジン

エアバッグ

メーター関連

ブレーキ

### 研究開発分野

- ・ヘッドアップディスプレイ
- ・コネクテッドカー
- ・プラグインハイブリッドカー

### 信頼性評価試験分野

- ・電波免疫性試験
- ・妨害波測定試験
- ・ドライブシミュレーター試験



# グローバル製造業事業領域（搬送機・工作機械）

大手搬送機メーカー  
大手工作機械メーカー

搬送機・工作機械 関連売上高

平成30年7月期第2四半期  
前年同期比 **20.3%増**  
平成30年7月期（通期予想）  
前期比 **5.1%増**

e-コマース  
スマホ社会

長時間  
労働

世界市場  
で強い

AI・IoT・ビッグデータ  
大活用時代の到来で更に需要増

大手重工業メーカー 大手鉄鋼会社

重工業 関連売上高

平成30年7月期第2四半期  
前年同期比 **22.6%減**  
平成30年7月期（通期予想）  
前期比 **18.1%減**

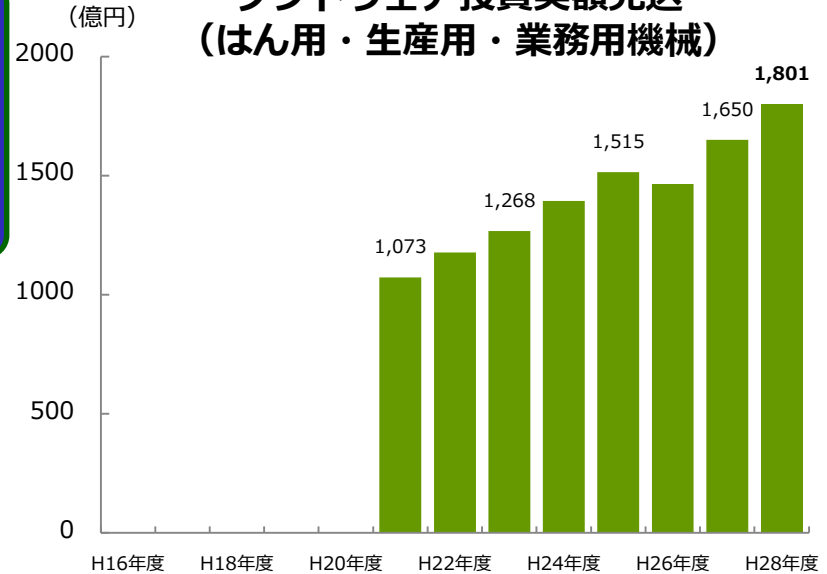
鉄鋼 関連売上高

平成30年7月期第2四半期  
前年同期比 **10.3%減**  
平成30年7月期（通期予想）  
前期比 **20.2%増**

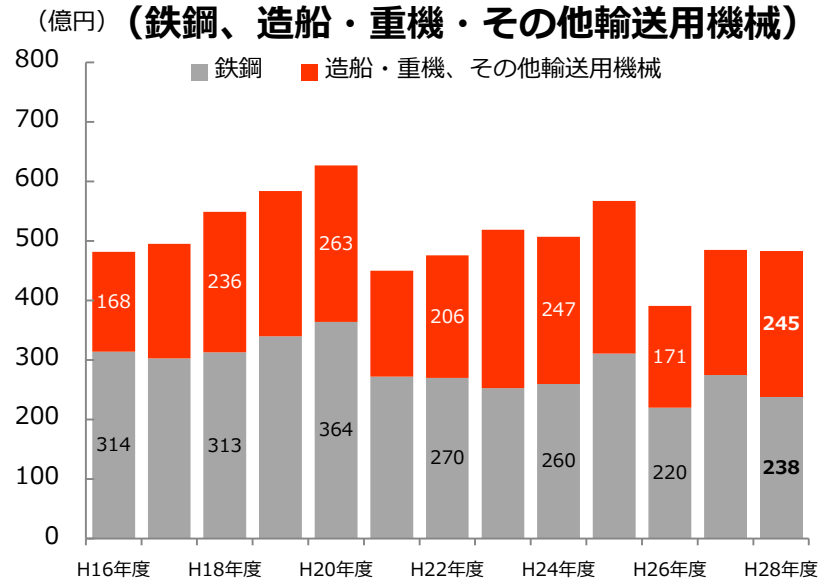
日本を代表  
する基幹産業

長期安定した  
情報システム投資

### ソフトウェア投資実額見込 （はん用・生産用・業務用機械）



### ソフトウェア投資実額見込 （鉄鋼、造船・重機・その他輸送用機械）



出所：日本銀行「時系列統計データ検索サイト」より当社作成



# 社会情報インフラ事業領域 (電力・生命保険)

## 大手電力会社グループ 大手電気保安協会

### 電力 関連売上高

平成30年7月期第2四半期  
前年同期比**51.3%増**  
平成30年7月期 (通期予想)  
前期比 **25.1%増**

エネルギー  
自由化

スマート  
グリッド

原発  
再稼働

## 大手生保会社グループ

### 生命保険 関連売上高

平成30年7月期第2四半期  
前年同期比**18.8%減**  
平成30年7月期 (通期予想)  
前期比 **15.5%増**

生保レディ  
+ ネット販売

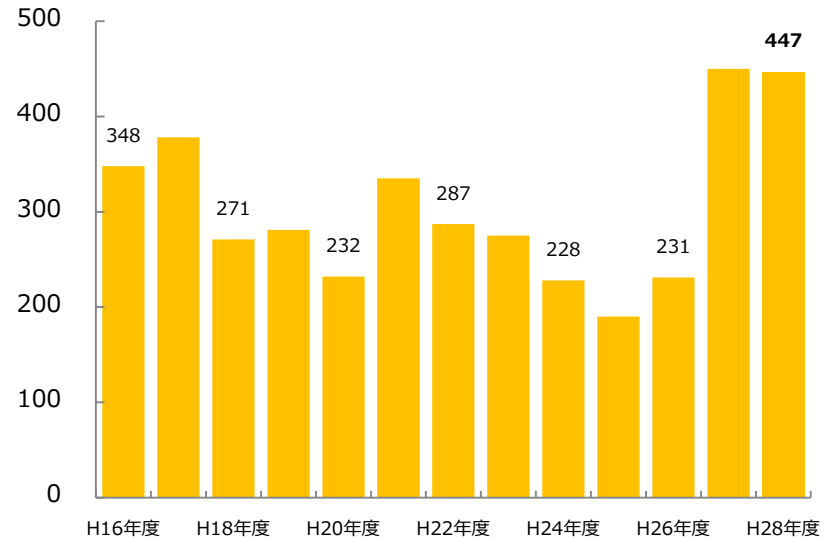
総合代理店  
地銀・通信キャリア

商品の  
多種・多様化

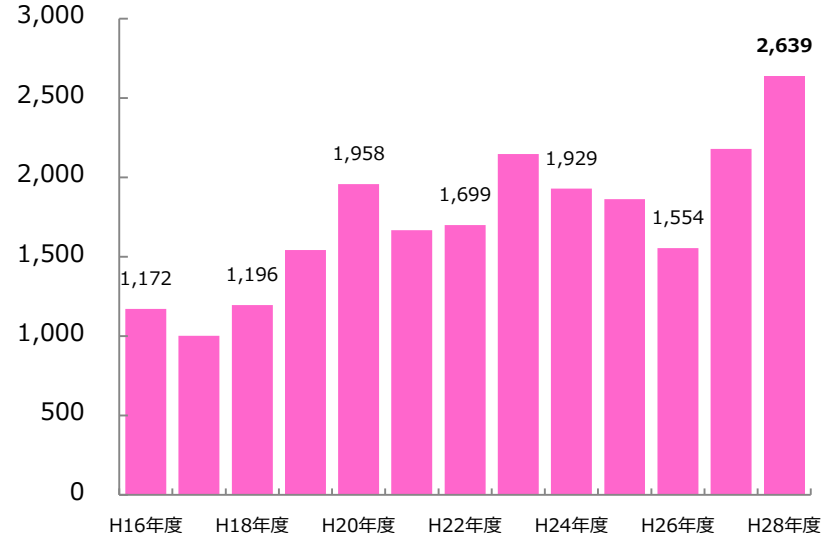
近い  
将来

FinTech (金融+IT)  
AI・ウェアラブル端末  
予防医療

(億円) ソフトウェア投資実額見込 (電気・ガス)



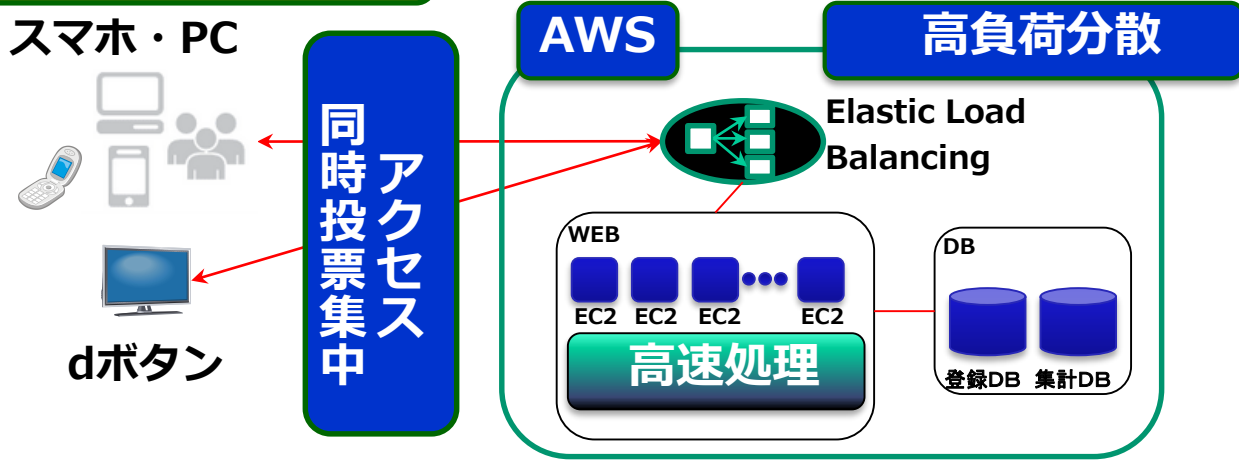
(億円) ソフトウェア投資実額見込 (保険)



出所：日本銀行「時系列統計データ検索サイト」より当社作成

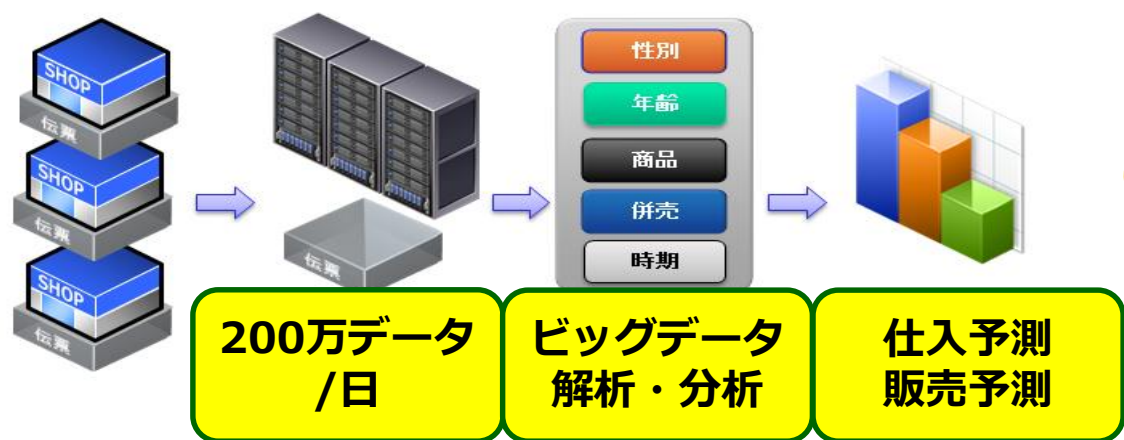
## テレビ局クイズ生番組

テレビのdボタン以外に、同時20万人が、PC・スマートデバイスで参加出来るシステムを、Amazon社AWSサービスを使い低価格で実現



## 大手レンタルビデオチェーン

テレビ局クイズ生番組でAmazon社AWSサービスを使用した大量データ高速処理技術を応用し、レンタルビデオチェーンのビッグデータ分析を低価格で実現

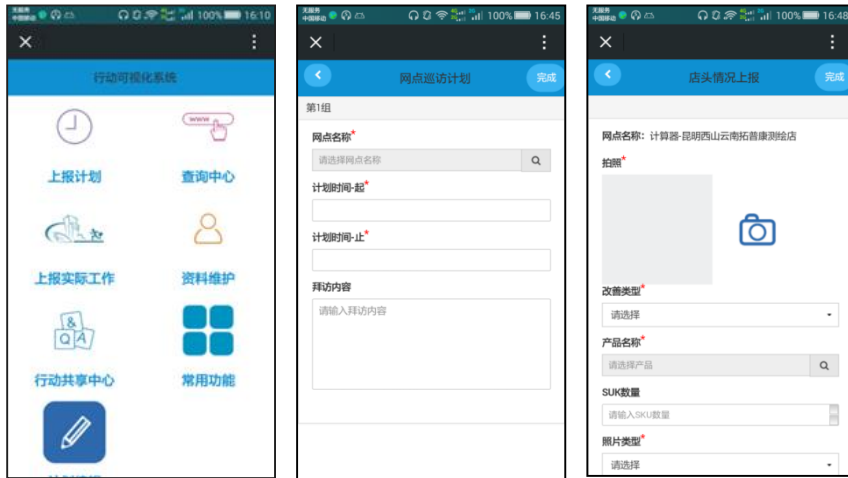


※「Amazon Web Services」(AWS)などのサービス名やロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の登録商標または商標です。



中国・アフリカ等で7億人以上に利用されるWeChat(微信)の  
企業向けA P I を活用したソリューション事例

## 日系大手精密機器メーカー 「店舗統括管理システム」



- ・店舗展示状況報告
- ・出退勤、スケジュール管理
- ・グループコミュニケーション

## 産業用機械の保守端末



## 中国観光客向け 館内情報の提供



# M & Aによる事業規模の拡大

## 高リスク

赤字・債務超過の  
企業のM & A

## 高リターン

- ・貴重な顧客、人材
- ・新分野、新技術
- ・早期に投資回収

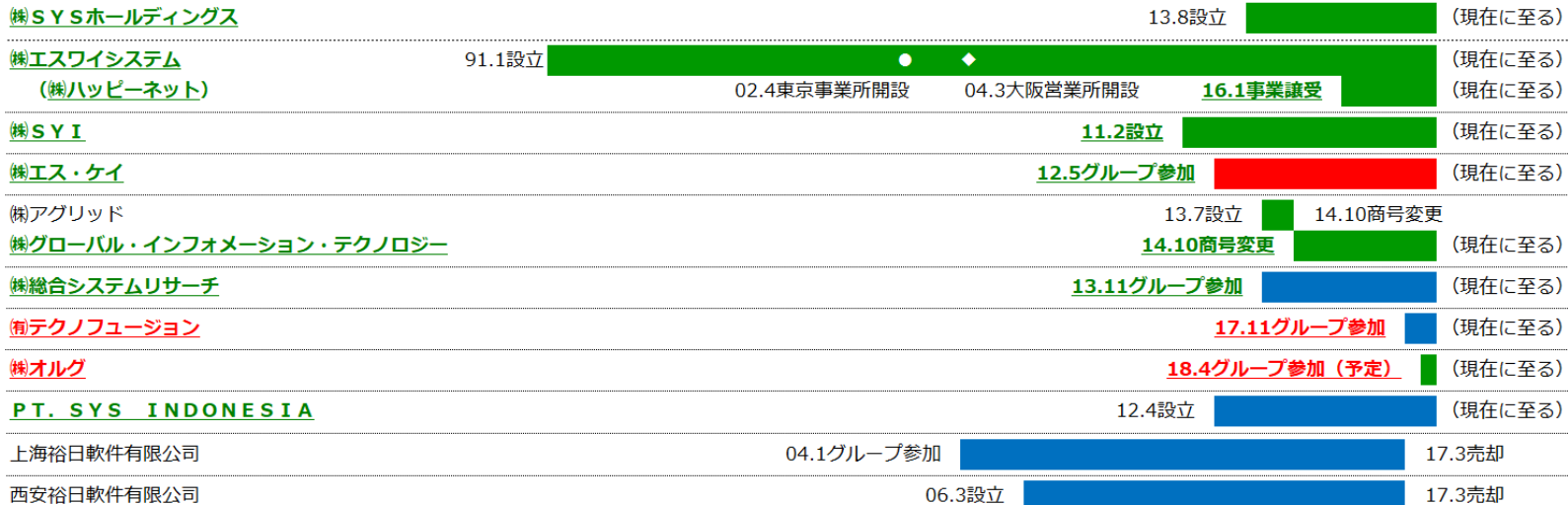
- ・黒字会社は早期の投資回収が難しい
- ・これ迄黒字転換させた実績
- ・蓄積したノウハウ

継続した  
事業の成長

- ・中小企業では経営者が高齢化(後継者難)
  - ・営業と組織拡大が出来ず、成長出来ない会社も多い
  - ・人材難から2020年頃迄は堅調だが、以降は厳しい
- ⇒ **2020年迄は機会をうかがい、  
厳しくなったら、一挙に攻める！**

## グループ変遷

91 92 93 94 95 96 97 98 99 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18



獲得した領域

ITインフラ

生命保険

モバイル

電機  
車載ECU



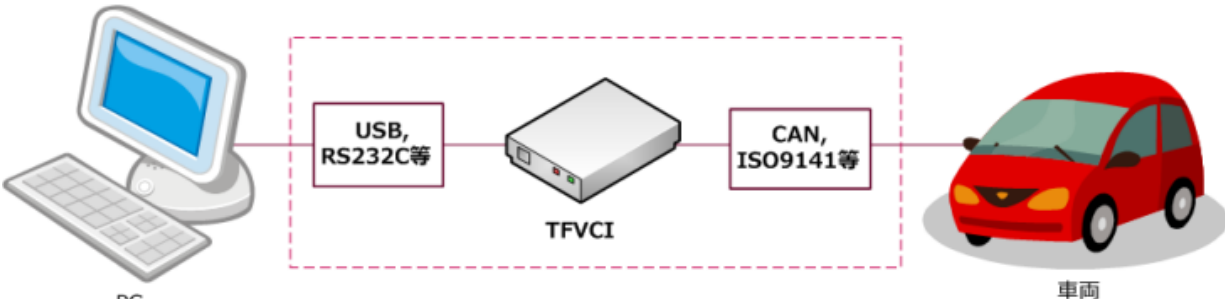
# 有限会社テクノフュージョンの子会社化について

## ～通信制御、ハードウェア設計等 技術力の強化に向けて～

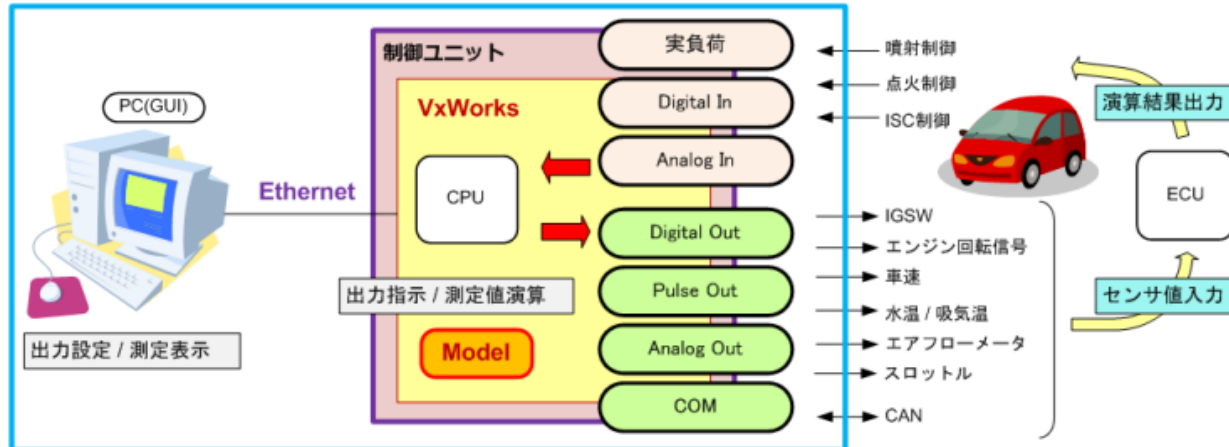
平成29年11月17日に、有限会社テクノフュージョンの全株式を取得し子会社化いたしました。同社は、自動車向けの組込システム、通信制御系システムの開発、ハードウェアの設計等、専門性の高い技術を有しており、今後グループ会社として共に皆様のご期待、ご要望にお応えしてまいります。

ダイアグCAN (注) に多くの実績があります

- ・車両故障診断ツール (診断テスター)



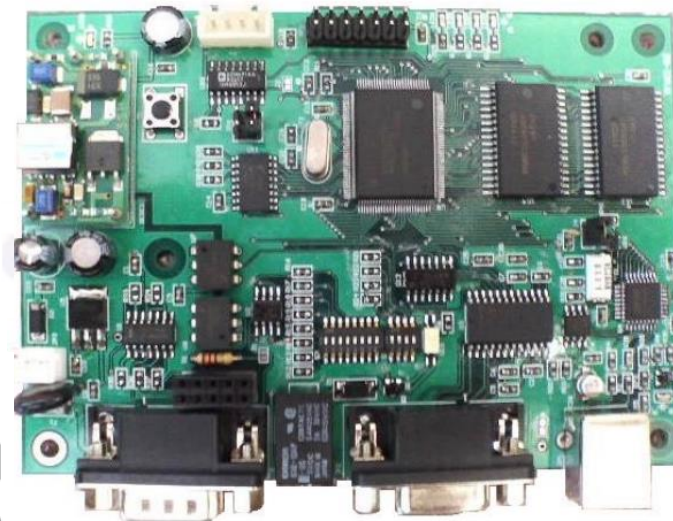
- ・ECUリアルタイムシュミレーター (ECU検査装置)



自社開発 車両通信モジュール

**TFVCI**

(Technofusion Vehicle Communication Interface)



(今後の見通し)  
 (有)テクノフュージョン子会社化による平成30年7月期の連結業績に与える影響は、売上高74百万円、経常利益2百万円の増加を見込んでおります。



# 株式会社オルグの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成30年3月22日開催の取締役会において、株式会社オルグの全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました（譲渡実行予定日：平成30年4月13日）

株式会社オルグは、コンピュータの開発言語であるアセンブラ言語のORIGIN（起源・源）を社名の由来としており、情報サービス業の創成期である昭和49年に創業し、40年以上、エンドユーザーの基幹業務システムを支えてまいりました。

その豊富な経験を基に、大手メーカー等との二次取引でも、実績を重ねております。

同社を子会社化することで、関東圏での事業拡大が出来る事は勿論、同社の長崎純一社長と、八ツ田一浩専務をはじめとする役員や従業員が長年培った、大切な顧客資産及び、大切な技術資産は、当社グループの中で大きなシナジー効果を生むものと考えております。

## 会社名

株式会社 オルグ

## 設立

昭和49年4月

## 資本金

50,000千円（平成30年2月末現在）

## 従業員数

36名（平成30年2月末現在）

## 所在地

（本社）東京都豊島区高田3-32-3メイスンビル  
（北関東営業所）  
埼玉県さいたま市大宮区仲町1-47大宮SGビル

## 主要取引先

- ・富士通(株)
- ・(株)ソルクシーズ
- ・大興電子通信(株)
- ・ソレキア(株)
- ・ミツイフ情報(株)
- ・(株)日本アイデックス
- ・(株)パルコ

（注）(株)オルグのホームページより抜粋

（今後の見通し）

本件株式取得が連結業績に与える影響については現在精査中であり、適時開示必要になった場合には速やかにお知らせいたします。





# 【参考資料】 事業の特徴と強み



## 事業の特徴と 強み

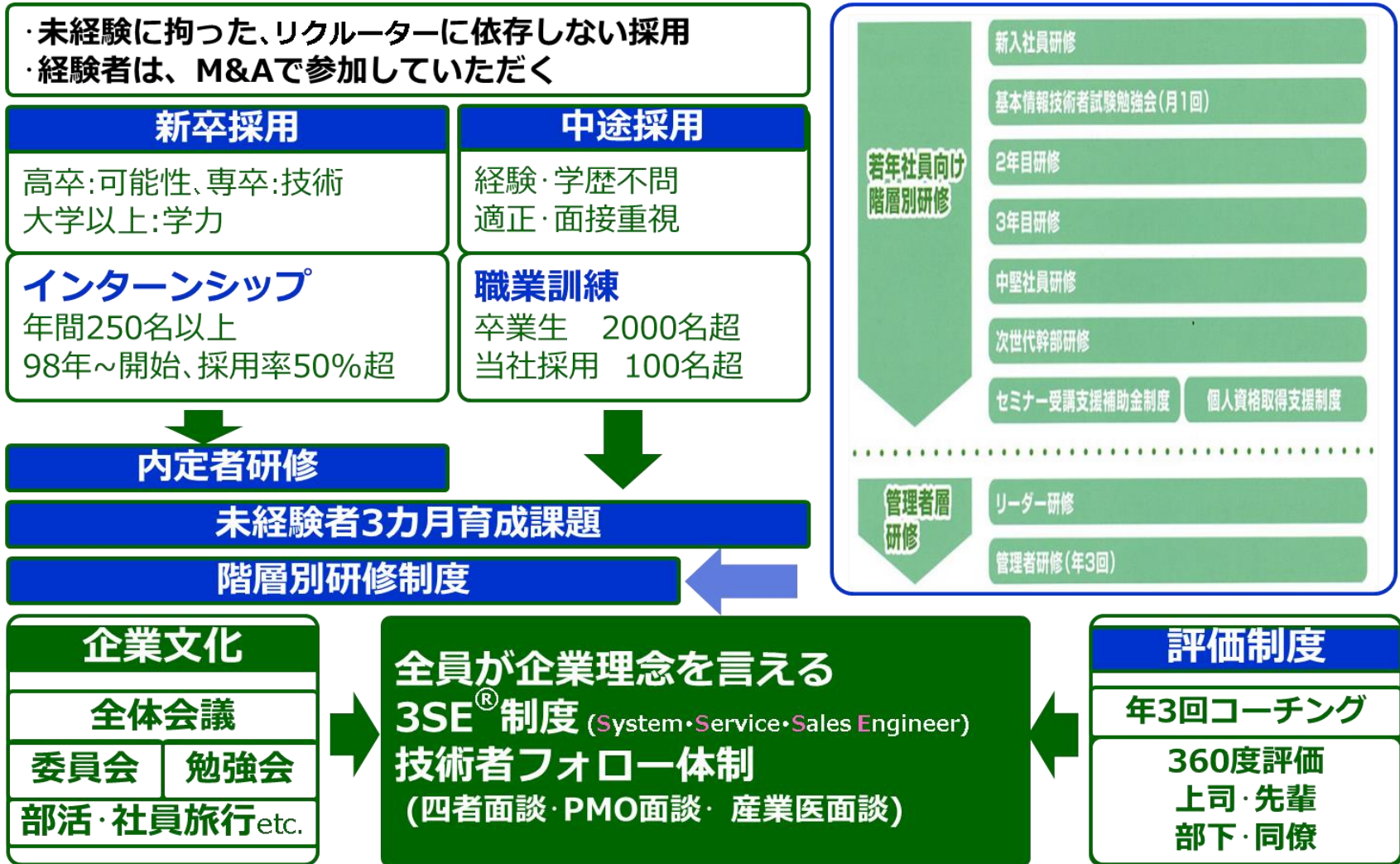
### ◆ I T 人材創出

- ・ 業界未経験者からの I T 人材の創出
- ・ 一歩進んだダイバーシティ経営

### ◆ 幅広い技術領域

### ◆ 大手取引先を獲得できる営業力

長年の未経験者採用と、教育ノウハウにより、未経験者をIT人材として育成し、強い組織力を醸成出来る制度が整備されています。



**女性**

従業員比：24% (21%)  
 新卒採用40%目標  
 時短勤務拡充等で  
 女性就業環境を充実

**高齢者**

従業員比：1% (2%)  
 PMO・コンサル等  
 活躍できる職場作りに  
 積極的に取り組む

**外国人**

従業員比：9% (9%)  
 9カ国の社員が活躍  
 外国人育成プログラムも充実  
 留学生は日本人枠で採用  
**西安から直送採用 (注)**

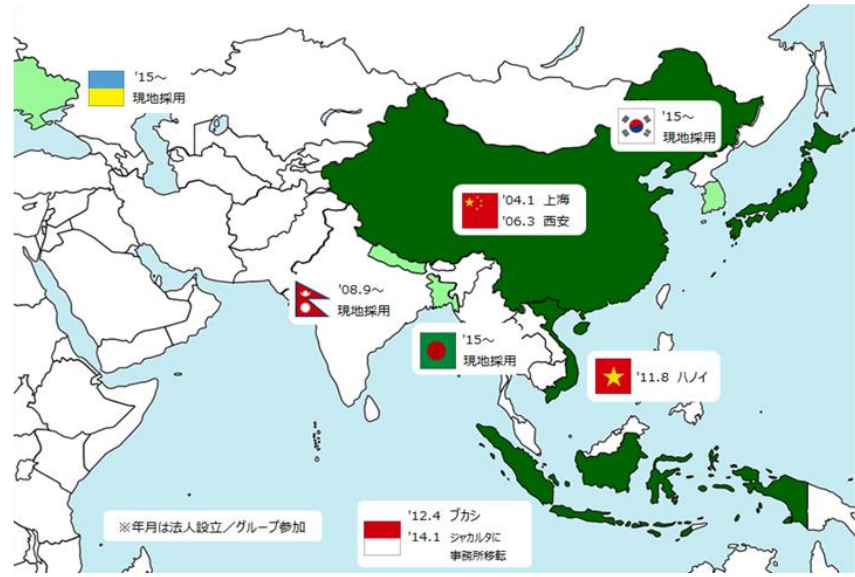
グループ全体% (エスワイシステム単体%)  
 (平成30年1月末時点)

(注) 中国西安市の現地で、面接・採用を行い、海外重要提携先で教育後、日本のグループ会社で勤務しております。

当社グループで登録  
**愛知県 『女性の活躍促進宣言』**

(株)エスワイシステムとして登録/認証

愛知県 愛知県 名古屋市 大阪府



**働き方改革により平均残業時間の短縮を行っています。**

平成28年7月期実績 21時間  
 平成29年7月末時点 18時間



# 幅広い技術領域

当社グループは、情報技術の発展とともに様々な新技術で社会の発展に寄与してきました。当社グループの主要な技術領域は以下の通りです。

## 実績がある技術領域

ビジネス・システム

エンベデット・システム (注) 1

ITインフラ構築

サーバー・チューニング

DBチューニング (注) 2

サーバー仮想化 (注) 3

セキュリティ

## 今後発展が期待される 実績がある技術領域

車載ECU (注) 4

ビッグデータ処理・解析

クラウド

スマートデバイスアプリ

AR (拡張現実)

VR (バーチャルリアリティ)

## 今後発展が期待される 取り組むべき／取り組みを 開始した技術領域

IoT (注) 5

AI (人工知能)

ロボット

自動運転

- (注) 1. エンベデット・システム：家電、産業用機械等に組込まれるシステム
- 2. DB：データベース
- 3. サーバー仮想化：1台のサーバーを複数台の仮想的なサーバーとして使用する仕組み
- 4. ECU：電子制御ユニット
- 5. IoT：Internet of Thingsの略。モノにインターネットをつなげる技術



# 当社グループが目指すもの

- **2020年**までは**高い成長**を目指し、採用・育成等、**人材投資**に力を入れる。
- **体制の拡充を優先**し、戦略的に下請け比率も上げる。
- **2020年**以降に予想される景気後退期までに、中核を担える人材を**育成**し、同業他社との競争に**勝ち残る**。
- また、景気後退期には、**M&A**を一気に進める。



(代表取締役会長兼社長 鈴木裕紀)

## グローバル情報技術で笑顔を創る

## 当たり前を突き詰める経営



# 免責事項

本資料に記載した内容等は、資料作成時における当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。また、業績見通し及び将来予想についても、資料作成時点において入手可能な情報に基づいた内容であり、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、実際の業績とは異なる場合があります。

投資を行う際には、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

【 I Rに関するお問い合わせ先】  
株式会社SYSホールディングス  
I R担当  
T E L : 052-937-0209  
E-mail : info@syshd.co.jp

